

“学校における働き方改革” 教育長メッセージ 2025

～子どもたちの未来のために“チーム”と“対話”で実現を！～

今、未来を担う子どもたちのために、学校における働き方改革の取組が様々な場所で進められております。質の高い学校教育を持続可能なものとしてくためには、教職員が心身共に健康で、“働きやすさ”と“働きがい”を実感できる環境整備を進めなければなりません。

教職員が子どもたち一人一人としっかり向き合い、その子の健やかな成長を願い、共に生き生きと学びに夢中になれる、そんな学校教育を支えていくためには、全ての関係者が、子供たちへのより良い教育を目指す“チーム”として“対話”を重ねながら、各々の役割と責任に基づいて決断し、行動することが求められております。

県教育委員会では、令和5年度に働き方改革推進課を設置し、全庁体制で取組を進めております。令和6年度からは、県内公立学校における、新たな働き方改革の推進計画「みんなの学校！ピースフル・プラン」が、令和8年度末までの三年間の計画としてスタートしました。

そして、本計画の具体的な取組目標となる「私たちのピース・リスト 2023」のもと、市町村教育委員会や学校を始め、全ての関係者と連携・協働して、働き方改革と教職員のメンタルヘルス対策を一体として、全県的な取組を推進しております。

特に、今年度は新たに、教職員の心の健康づくりに向けて、毎年5月1日と9月1日を「教職員メンタルヘルスの日」と制定し、また、4月には、公立学校教職員のメンタルヘルスケアの指針となる「メンタルサポートガイドライン」を策定しましたので、教職員の皆様には、ぜひ、ご一読して頂きますよう、お願いいたします。

このように、県教育委員会では、これまでにないメンタルヘルス対策の全県的な取組も展開しているところであります。

各学校や市町村教育委員会での取組はいかがでしょうか？ 現在進行中の働き方改革推進計画は令和8年度末までの計画となることから、今年度の取組は、計画の結果を左右するとても重要なものになります。上手くいった取組もあれば、時間を要する取組もあり、多くのトライ＆エラーがあると思います。しかし、改革の歩みを着実に進めなければなりません。

計画の最終年度となる令和8年度を見据えて、各学校においては、校長のリーダーシップの下、教職員一人一人が連携・協働し、また、各地域においては、学校と教育委員会が連携・協働して、子供たちへのより良い教育を目指す“チーム”として“対話”を重ねながら、取組を着実に進めて頂きますようお願いいたします。

そして、働き方改革は学校や教育委員会だけで実現できるものではありません。その実現には、保護者や地域、県民の皆様のご理解とご協力が必要です。

各教育委員会や学校におかれては、積極的に情報を発信し、保護者や地域の皆様の理解を得ながら、地域全体で連携・協働できる体制づくりに努めて頂き、また、保護者や地域の皆様におかれては、このような改革が進められる中で、戸惑いや不安等を感じることもあろうかと思いますが、子供たちへのより良い教育を目指す“チーム”として、皆で“対話”を重ねながら、適正な役割分担の下で、これまで以上に子供たちと関わり、連携・協働していただきますよう、心よりお願いいたします。

県内でも、各関係者の皆様のご理解、ご尽力のお陰で、様々な取組が進められてきております。県教育委員会も、引き続き、沖縄県の全ての公立学校で、地域の実情に応じた働き方改革が実現されるよう、その役割と責任の下で決断し、行動してまいります。

子どもたちは、沖縄県の未来であり、県民の宝であります。その子供たち一人一人が、生き生きと健やかに成長することの出来る教育環境の整備に向けて、我々、県民一人一人が、“チーム”として“対話”を重ねながら、各々の役割と責任のもと、連携・協働して、学校における働き方改革を共に実現して頂きますよう心よりお願いいたします。



令和7（2025）年8月29日
沖縄県教育委員会教育長 半嶺 満